

令和6年度（2024年度）八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	古典探究
学年・類型	3学年・全	単位数	2
教科書	精選古典探究（東京書籍）（2東書 古探702・703）		
副教材	国語総合便覧 第一学習社 現代文単語集 宅習用問題集		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 		
学習方法	教科書や副教材を中心に、知識をしっかりと身に付ける。また、課題探究学習やグループワーク等を通して、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を養う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考査（知識・技能の定着状況を評価する問題を出題） ②確認テスト ③授業への取組状況	①定期考査（思考・判断・表現について評価する問題を出題） ②確認テスト ③課題の内容 ④授業への取組状況	①課題やノートへの取組状況や提出状況 ②授業への取組状況

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 知識・技能 40% 思考・判断・表現 40% 主体的に学習に取り組む態度 20%

学 期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法 (学習指導要 領に対応)
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	紫式部日記 【女郎花】 ・作品の背景を踏まえながら日記を読み、内容の解釈を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	積極的に作品の背景を踏まえながら日記を読み、今までの学習を生かして、内容の解釈を深めたり、作品の特徴を理解したりしようとしている。	【知技】 ①③ 【思判表】 ①③④ 【主】 ①②
	三国志の世界〔言語〕 【赤壁之戦】 ・登場人物の行動や心情を読み取り、語彙を豊かにして文章にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係 	積極的に本文の内容や構成、展開を的確に捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人物像についてまとめようとしている。	【知技】 ①②③ 【思判表】 ①②③ 【主】 ①②

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<p>を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 		
<p>源氏物語玉の小櫛 【もののはれの論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 背景を踏まえながら論旨を的確に捉え、考えを深める。 <p>■ 古文の窓 8 本居宣長以前の『源氏物語』論</p> <p>□ 「源氏物語」がどのように享受されてきたかを調べ、本教材の位置づけについて考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<p>積極的に背景を踏まえながら評論の論旨を的確に捉え、今までの学習を生かして、自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>【知技】 ①②③ 【思判表】 ①②③ 【主】 ①②</p>

	<p>李白と杜甫</p> <p>【秋浦歌】 【早発白帝城】</p> <p>【送友人】</p> <p>【絶句】 【登岳陽楼】 【石壕吏】</p> <p>・ 詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わい、近体詩と古体詩の違いを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<p>積極的に漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わい、今までの学習を生かして、詩の発想の豊かさや、表現のおもしろさを理解しようとしている。</p>	<p>【知技】</p> <p>①③</p> <p>【思判表】</p> <p>①③④</p> <p>【主】</p> <p>①②</p>
2 学 期	<p>大鏡</p> <p>【三船の才】</p> <p>【道長、伊周の競射】</p> <p>・ 歴史物語を背景に注意しながら読み、作品についての理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値に 	<p>積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。</p>	<p>【知技】</p> <p>①②③</p> <p>【思判表】</p> <p>①②③</p> <p>【主】</p> <p>①②</p>

	<p>が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<p>について考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 		
<p>諸子百家</p> <p>【原泉混混】</p> <p>【天下莫柔弱於水】</p> <p>【兵形象水】</p> <p>◆政治のあり方</p> <p>【無恒産無恒心】</p> <p>【侵官之害】</p> <p>・ 各テーマに対する諸子百家の思想の違いを知り、ものの見方、考え方を豊かにする。</p> <p>■漢文の窓7 諸子百家</p> <p>□儒家・道家・墨家・法家の政治に対する基本的な考え方を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・ 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<p>文章内容からそれぞれの考え方を積極的に読み取り、その違いについて理解するとともに、今までの学習を生かして各テーマに対して自分自身の考えをまとめようとしている。</p>	<p>【知技】</p> <p>①③</p> <p>【思判表】</p> <p>①③④</p> <p>【主】</p> <p>①②</p>

<p>去来抄 「行く春を…」 「岩鼻や…」</p> <p>・ 俳論の内容を的確に捉えるとともに、多面的・多角的な視点から考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・ 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<p>積極的に俳論の内容を捉え、今までの学習を生かして、多面的・多角的な視点から自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>【知技】 ①②③ 【思判表】 ①②③ 【主】 ①②</p>
<p>共通テスト対策</p>				

3 学 期	・共通テスト対策 ・特別時間割による授 業				
-------------	-----------------------------	--	--	--	--